

JEAS News

vol. **43**

2025 夏号

令和7年度通常総会・大プレゼン大会特集 ……防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽……

	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体 https://www.jeas.gr.jp			
	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体 https://www.jeas.gr.jp			
	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体 https://www.jeas.gr.jp			
	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体 https://www.jeas.gr.jp			
		工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体 https://www.jeas.gr.jp		
	The Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance machines	工業会 日本万引防止システム協会 認定個人情報保護団体 https://www.jeas.gr.jp		
●なるほど!万引防止・ ロス対策情報は JEAS Facebook				
●月2回定期配信 ロス対策メールマガジン				
				
熱気に包まれた総会・大プレゼン大会				
～防犯民主主義実現に向けて～ EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会				

認定個人情報保護団体
工業会 日本万引防止システム協会

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	表紙裏
あいさつ 工業会日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範	3
工業会日本万引防止システム協会令和7年度通常総会開催概要	4
あいさつ 総務省総合通信基盤局電波部電波環境課 課長補佐 水井 健太 様	5
あいさつ 個人情報保護委員会事務局 企画官 長沼 裕史 様	6
あいさつ 国土交通省鉄道局 総務課危機管理室危機管理室長 坪原 和洋 様	6
あいさつ 経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長補佐 籠 寛之 様	7
あいさつ・乾杯 日本小売業協会 専務理事 湊元 良明 様	8
ご祝辞をいただいた元総務大臣・衆議院議員の葉梨康弘様との面談記事	9
総会で贈呈された感謝状の文面	9
新理事・新顧問あいさつ	9
令和7年度 職業専門委員認定メンバー	10
通常総会・第2部 記念行事 大プレゼン大会 JEAS AWARD 2025	11
令和7年度事業計画	13
推薦製品の紹介	14
セキュリティショー2025 JEAS ブースとセミナー	14
個人情報保護法改訂に向けてのセミナー	15
新会員あいさつ	15
理事会15分勉強会	16
防犯カメラを人数カウントなどに使うときの告知の徹底	16
ロス対策士情報とJEAS報奨制度について	16
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	17
事務局長編集後記・緊急！セミナー情報	18
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	裏表紙
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿一覧 ご相談窓口について	裏表紙



中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野：電子商品監視機器（EAS）、防犯カメラ] に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税）」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」※を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。

※「攻めの防犯」と「防犯民主主義」の説明 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>

- (4) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2027年3月末日まで延長されています。また、2025年4月1日より申請フォームが変更となります。新フォームでないと受付不可ですのでご注意ください。

詳しくは工業会ページをご参照ください。 <http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>

JEAS Facebook も絶賛公開中！
<https://www.facebook.com/JEAS.JAP>





※13頁に通常総会・大プレゼン大会の視聴方法があります。

皆様こんにちは 稲本です。

みなさまのお蔭を持ちまして工業会設立24年目を迎えます。

さて、犯罪情勢として、令和4年には20年連続で減少してきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じております。令和5年に続き令和6年度はさらに悪化し、特に触法少年含む青少年検挙・補導数令和4年対比36%も増加しています。さらにはセルフレジ不正、ネット等での盗品売買の横行、組織的万引で高額被害事案や匿名・流動型犯罪が増加するなど、犯罪の組織化、国際化、悪質化がますます目立ってきています。自戒を込め、実行力のある対処が必要になっております。

さて、3点ほどお話しさせていただきます。

1点目として、当工業会の主眼は「防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽」に置いている点です。理事会での毎回の勉強会、サイバーセキュリティ、JEAS 検定講習会、推奨顔認証システム検定、科学保安検定講習会、データガバナンスや個人情報に関するセミナー、セキュリティショー東京と大阪での公開セミナー、第1回ファミリーセミナーでの子供たちとのゲルマニウムラジオ作りなど、毎月セミナーを開催しました。結果的にそれらは、業界全体のパワーアップになり、会員間の交流や取引が目に見えて増えていると感じます。実際、掲示を義務付けている EAS ステッカーの出荷数は前年の1.7倍にアップ、顔認証システムもこの5年で5.7倍になっています。昨年4月から企業警備保障(株)、セーフイー(株)、ダイワ通信(株)、HIKVISION JAPAN(株)、HOUSEI(株)、(株)アスタリスク、(株)パトライト、(株)ボックス・ワン、新たにソフトバンク(株)、計9社が入会され、いまなお数社が入会の準備を進められています。

2点目として、本年度はその良き流れを未来へと紡いでいけるようにします。具体的には、本日も大プレゼン大会、リテール AI 研究会の協力をいただき10月9日～10日の予定でリテール AI の研究施設「宮若」の見学会、8月1日はファミリーセミナーとして、現地で災害教育をみんなで学びます。それ以外にも「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備(立哨・巡回・接遇)」の冊子を作成し、そのセミナーを準備しているところです。

3点目として、誰もが安全安心を等しく享受できる防犯民主主義の実現に向けて、覚悟をもって臨むということです。経済産業省指定のセキュリティ機器の工業会として、内閣府の個人情報保護委員会の認定個人情報保護団体として、法を順守することは第一義と考えますが、それよりも上位に位置するのが、法の改正時にその民主的プロセスに参画することです。その際、必要とされる内容や考えを法に織り込んでいただくよう提案することだと思います。国が方針を示せない時は、JEAS が素案やガイドライン案を冊子という形式で発表してきました。

最近の話ですが、パワーポイントの4ページと5ページにあるように、先日も滋賀県警から捜査の協力要請があり、その日のうちに JEAS から会員及び関係小売業に「真のデータガバナンスを履行するためにも捜査に協力されたし」というお願い文を発出しました。

昨年の能登半島地震では、災害復興のため私も防災士として現地で作業しましたし、会員のダイワ通信やセーフイー社などが機材の提供を行いました。パワーポイントの6ページのように、本日は、能登半島地震及び水害の復興支援「被災地に花を咲かそう 花植え隊」に、寄付を集めようと思います。沿線に花を植えることを応援することで、心の復興支援になればと思います。受付に募金箱を用意しております。



受付の募金箱

このように我々は民主主義、立憲主義、文民統制のプロセスを根幹におき、大義があれば前例の無いことも果敢にチャレンジし、新たな道を作ることで産業的・社会的役目を次の時代へと恩送りしております。リスクから逃げるのではなく、リスクに立ち向かってこそ、未来への活路が見いだせるのです。皆様、防犯民主主義の砦としての工業会 JEAS に引き続きのご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

第3部 意見交換会挨拶

稲本でございます。お陰様で総会第1部及び第2部の第プレゼン大会は楽しいユーモアを交えてつつがなく終了いたしました。第3部に葉梨議員など多数のご来賓をいただいております。

あちらには日本小売業協会の湊元専務理事、小林常務理事にご臨席いただいております。日本小売業協会が担当される2026年10月開催の第22回アジア太平洋小売業者大会（東京大会）へのスポンサー協力とロス・プリベンションセミナーとブース出展を予定しています。国内外の皆さまと積極的な交流をはかっていきたいと考えております。湊元専務、小林常務にはご指導をお願いします。

工業会 JEAS はロス対策などのリテールソリューションの職業専門集団です。この職業専門家に求められるのは技能と技量と使命です。技能とは 改善のプロセスを調査し、正確に説明・再現することです。技量とは明らかに実態と異なる見解が示された場合、概念的な危惧や人的圧力を凌駕するシュミレーション力、つまりは胆識のことです。使命とは 人々の安全安心のため、脱法思考を排除し、官民で基準を作りその順守を全うすることです。わたしたちはそれを「JEAS 永劫の使命」と呼んでいます。

残念ながら世界の各地で国家的、経済的対立がより顕著になっています。判断を生成 AI にだけに委ねるケースも散見されています。相手のことを顧みない官僚的、機械的なアプローチは権力の暴走または停滞へと向かいます。本来、国家も経済も科学技術も人間の営みから生まれ、先人の体験や内省力から形成されてきたもので、現場の汗を伴う活動のなかにその命脈があります。我々は現場の視点の課題に対して日々取り組んでおり、それを Think Globally, Act Locally. 一隅を照らすは、これ則ち世界の宝なりという表現で説明し、あるときは防犯の梁山泊と言ってしまうたりします。

本日、研鑽されたことを、いい話を聞いたよ。で終わることなく、一つでも良いので自己の意識改革や自社の活動に活かしていただければと思います。防犯民主主義の梁山泊と言われるためには、強い内省力と不断の対話が必要です。

結びにご参集の皆さまの長寿と繁栄をご祈念申し上げます。



事務所
〒160-0004
東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7階

工業会日本万引防止システム協会令和7年度通常総会開催概要 ……防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽……

- 日時 2025年6月6日（金）13：30～（受付開始13：10）
- 主婦会館プラザエフ 第1・2部 9Fスズラン 第3部 8Fスイセン
- 第1部 総会 (13：30～14：35) <9階スズラン>
 - 1. 開会
 - 2. 会長挨拶
 - 3. 議長選出
 - 4. 議案
 - 第1号議案：令和6年度事業報告、収支決算の件
 - 第2号議案：令和7年度職業専門委員の選出
 - 第3号議案：令和7年度組織・人事の件
 - 第4号議案：令和7年度事業計画、収支予算の件
 - 新役員挨拶（理事・顧問）、新会員紹介、新任委員挨拶、記念写真
 - 5. 閉会 (14：10頃を予定)
 - 6. 感謝状贈呈
 - ウエルシア薬局株式会社 代表して同社 取締役副社長 石田 岳彦様へ贈呈
 - 株式会社コスモス薬品 代表して同社 総務部 顧問 西澤 康雄様へ贈呈
 - 日本電気株式会社 スマートリテール統括部
コンシューマーエクスペリエンスグループ 摺田 祐司様へ贈呈
 - 7. 職業専門委員挨拶
 - 8. 来賓挨拶
 - 総務省 総合通信基盤局 電波部電波環境課 課長補佐 水井 健太様



大プレゼン大会
金賞

休 憩 (14:35～14:50)

第2部 記念行事 大プレゼン大会 (14:50～16:45) <9階スラン>

1. JEAS AWARD 2025

毎年行っていた第2部の記念講演をとり止めて、会員各社の15分プレゼン提案の大会を開催します。審査基準は①小売業でのニーズ ②内容・発表の分かり易さ ③内容・話が楽しい ④ガバナンスやSDGsの観点 ⑤真の防犯マーケティング度です。審査員は大手チェーンのご担当、ものづくり大学教養教育センターの井坂康志教授が務めされました。

2. 来賓挨拶

個人情報保護委員会事務局 企画官 長沼 裕史様
国土交通省鉄道局 総務課危機管理室危機管理室 室長 坪原 和洋様

休 憩 (16:45～17:00)

第3部 意見交換会(懇親) (17:00～18:30) <8Fスイセン>

来賓挨拶

元法務大臣・衆議院議員の葉梨 康弘様
経済産業省 商務・情報政策局 情報産業課 課長補佐 籠 寛之様

乾杯

日本小売業協会 専務理事 湊元 良明様



感謝状贈呈式



大プレゼン大会 JEASAWARD2025 表彰式

総会 第1部 来賓挨拶

総務省総合通信基盤局 電波部電波環境課
課長補佐 水井 健太 様



総務省の水井と申します。本日は総会が盛大に行われましたこと心よりお喜び申し上げます。

総務省は電波行政を担当しており、その中でも、私が所属する電波環境課では、電波の安全性を所掌しています。5Gの普及も含め身の回りの電波利用が進みましたし、さらに2030年代にはB5Gが始まる見込みです。電波により益々生活が便利になりますが、便利さだけではなく、安全性の観点と合わせて両輪で進んでいく必要があります。

総務省でも、電波の安全性に関する政策は大変重視しています。総務省の情報通信審議会に、今般、電波政策の全体的な方向性を検討する「電波有効利用委員会」が立ち上がりました。その下には、様々な政策課題の議論をする作業班が設置されます。このような中、最初の作業班として、電波の安全性等に関して議論する「電波環境分野の在り方検討作業班」が立ち上がり、まもなく取りまとめを行う予定です。

工業会日本万引防止システム協会様は、電波の安全性の観点で大きく貢献されていると認識しています。具体的には、適切な万引き防止装置にEASステッカーを貼る活動をされており、電波の安全性に貢献いただいています。本日冒頭に稲本会長からもご説明がありましたが、EASステッカーの貼付枚数が大幅に増えたということで、総務省といたしましても、大変心強く思っております。同じく冒頭にご説明がありましたが、貴工業会は遵法精神を強く持ちつつ、前例のないことにも果敢に取り組んでいらっしゃるのと、当方としても敬意を感じております。

最後になりますが、工業会日本万引防止システム協会様と会員企業・関係者の皆様のますますのご発展を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

総会 第2部 来賓挨拶

個人情報保護委員会事務局 企画官
長沼 裕史 様



「工業会 日本万引防止システム協会様」におかれましては、日頃より安全・安心な社会を守っていくため、店舗などの盗難防止のための顔識別機能付きカメラシステムを活用した防犯に取り組み、先程の会員企業における「大プレゼン大会」において、顔認証に係る様々な技術や活用手法に関することや、店舗における万引きなどの犯罪を抑止するための対策などの紹介を拝聞し、防犯に対する積極的な取組が行われていることが実感できました。

顔識別機能付きカメラシステムは、防犯などの安全・安心な社会環境を確保するために今ではなくてはならない技術となってきています。他方で、個人の方を容易に識別でき、顔特徴データという個人の情報を長期間にわたり継続的に把握することが可能なものであり、社会にとって必要なインフラであるとともに個人のプライバシーに関わるものです。

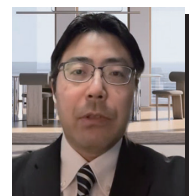
個人情報保護委員会では、民間事業者が顔識別機能付きカメラシステムを導入する際に、個人情報保護法の遵守や肖像権・プライバシー侵害を生じさせないための観点から留意すべき点などをまとめたパンフレットや広報動画などをホームページで公表しており、民間事業者における適正な利用が図られるよう周知してきました。

工業会におかれましては、個人情報保護法に基づく認定個人情報保護団体に令和2年に認定されて以来、JEAS個人情報保護指針（令和2年9月制定）を定められ、会員企業における個人情報の適正な取扱いの確保のために必要な措置や事項を示されるとともに、会員向けセミナーの開催などに取り組まれるなど、顔特徴識別カメラシステムの利活用にあたっての留意点の周知などに継続的に取り組みが行われてきたことについて感謝しております。

最後に安全・安心な社会環境の確保にとって大切な取り組みであり、今後とも顔特徴データの適切な取扱いのため、積極的な取り組みが行われることを引き続き期待したいです。

総会 第2部 来賓挨拶

国土交通省鉄道局
総務課危機管理室危機管理室 室長 坪原 和洋 様



貴重なご機会をいただき感謝いたします。

まず本年（令和7年）5月7日に東京メトロ南北線東大前駅で発生した刃物による傷害事件により負傷された方々に衷心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早いご快復をお祈りいたします。事件当日、負傷者を救護された旅客3名、非常用ボタンを操作して列車を停止させた旅客、また迅速に避難誘導に当たられた乗務員・駅係員・警察官・消防隊員各位の的確な行動により、被害の拡大防止に繋がりました。ここに深甚なる敬意と感謝を表する次第です。

今回、現場映像をリアルタイムで共有できる駅構内・車内用防犯カメラ（東京メトロ設置）の存在と、映像データを適切に保管・運用・共有する体制が、被害状況の早期確認、負傷者の救護、警察の初動捜査、列車運行の早期再開を支え、被害の拡大防止のみならず、多くの旅客が心配する家族の元に当日中に帰宅することもできました。このように防犯カメラが果たした役割は極めて大きく、社会的にも既に欠くべからざるインフラとして評価されているものと考えております。

JEASの皆様には、カメラを含む防犯・ロスプリベンション機器の高度化や運用指針の策定を通じ、我が国の安全・安心の確保に多大なるご貢献をいただいております。今回の被害抑止については、貴協会が先駆的に取り組まれてきた防犯カメラに係る様々な課題を真っ先に切り開いていただいたことが大いに役立っているものと確信しており、改めて厚く御礼申し上げます。

鉄道は国民生活と経済活動を支える不可欠な社会基盤です。しかしながら、冒頭にお話した事案のみならず、過去にも令和3年8月の小田急線車内傷害事件、同年10月の京王線車内傷害事件以降、乗客の安全を脅かす事案が相次いでおり、その対策強化は喫緊の課題です。

国土交通省は、早期発見・早期対処（不審者・不審物の迅速把握）、発生抑止（見せる警備と利用者参加）、被害軽減（事案発生時の迅速対応）を柱に、①駅係員・警備員による巡回の一層強化、②危険物持込みの禁止徹底、③平均輸送密度（1日1キロ当たり）10万人超区間を走行する新造車両への車内防犯カメラ設置義務化（令和5年10月15日施行）、④警察・消防との連携訓練強化等の施策を推進してきたところです。

今回の事案の発生を受けて、鉄道事業者関係各社連絡会議を通じ、その被害拡大防止施策を共有し、駅構内の防犯カメラや約6割の普及率（令和5年度調査）に達した車内防犯カメラのより一層の活用や運用高度化を警備徹底の着眼点として示し、その認識を共有することで、全国的な警備水準の底上げを図り、今後の事案の発生の抑止につなげてまいります。

東京オリンピック・パラリンピックや現在開催中の大阪関西万博を契機に導入が進んでいるリアルタイム通信機能のある防犯カメラとネットワーク化技術は、本件のようなテロ等重大事案への即応力を飛躍的に向上させています。今後は、少子化下の人員最適化・省人化という経営課題に対応する観点からも、さらなる普及と技術の進展が求められるものと考えています。

防犯カメラに関する世論としては興味深いデータがあります。東京都が令和5年12月に公表した「痴漢被害実態把握調査」では、痴漢撲滅に有効と考える対策として「防犯カメラの設置」が回答者の72.0%で最多となりました。既に防犯カメラについて、旅客の期待は「むしろ設置してもらわないと困る」という水準に達しつつあります。

もっとも、防犯カメラの社会的受容は、プライバシーが守られてこそ維持されます。撮影中である旨の明示、適切な保存期間、国外サーバー利用の透明性確保などのルールの明示による利用者理解の醸成は不可欠です。JEASが掲げる「防犯民主主義」の理念と、個人情報保護法等の厳格な遵守は、今後の鉄道分野におけるカメラ普及の指針として極めて示唆に富むものと存じます。

国土交通省は鉄道事業者と力を合わせ、防犯カメラの普及と高度化を一層推進し、利用者がテロや犯罪の脅威を感じることなく安心して鉄道を利用できる環境の確立に向けて取り組んでまいります。JEASの皆様から忌憚のないご助言を賜りつつ、さらなる安全対策の充実に努める所存です。引き続きのご指導とご協力をお願い申し上げ、挨拶させていただきます。

総会 第3部 来賓挨拶

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課
課長補佐（軽電、計測機器、制御機器 等 担当） 籠 寛之 様

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 籠 といいます。

本日は、工業会日本万引防止システム協会 意見交換会 にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。そして貴協会の総会が無事に終わられましたこと、お喜び申し上げます。一言挨拶させていただきます。

我が国経済は、昨年より賃上げや設備投資など明るい兆しが出始めています。今年の3月前後に新入社員の初任給を上げた企業の話も多く聞きました。

ただし、物価高騰は続いています。例として、コメが昨年の秋以来このような注目を浴びているのも予想しなかったところです。もちろん様々な要因があるのは間違いありません。

この状況を踏まえつつ、経済の好循環を定着させるためには、積極的な国内投資の拡大が重要です。そして人手不足を克服するための省力化投資、DXやGXといった戦略分野での大型投資を積極的に支援していきたいと考えています。

そして、アメリカでトランプ大統領就任以降、関税について話し合いが行われています。鉄鋼・アルミニウム、自動車などに続き、主な製品についても高率の関税が予定されております。現在も赤沢経済担当大臣を中心に交渉しておりますが、本件は我が国の経済状況を左右する話であり、今後とも注意深く見ていく必要があります。

他にも、ウクライナ紛争、中東情勢等、と不安定な状況も続いており、これらの注視も重要です。

当課の中心である。半導体とAIにつきまして、少し話させていただければと思います。

半導体は、家電製品をはじめ、スマートフォンや医療機器など幅広い製品に使われており、国民生活に密接に関連し、経済安全保障上も重要な戦略物資となっています。今後も自動運転や生成AIの活用など、我が国産業の未来、将来の経済成長の命運を担う最重要技術でもあります。

また、A I は、我が国の産業が革新的な製品・サービスを創出し、経済成長を実現するとともに、人口減少による構造的な人手不足やG X等の社会課題を解決するために不可欠な技術です。世界も中でも大胆な支援策を展開している中、我が国も大規模かつ戦略的に重点的投資支援を行う必要があります。

このようなデジタル技術の推進に加え、世界は循環経済、いわゆるサーキュラーエコノミーを推進していますが、我が国も、資源の再利用による製造過程でのC O 2排出や廃棄物の削減は重要な課題だと考えています。我が国の高度な資源循環技術を活かしていきたいとも思います。

貴協会は、創立24年目を迎えたと聞いております。防犯カメラ、ゲート機器などの機器は、大きく我が国の安全を保つことができるものと考えます。

最新の情報では、令和6年は、前年の5年に続いて、全国の刑法犯認知件数が増加しているということ。これは残念であり、今後はその対応が重要になると考えます。

家族間交流などの社会活動も重要です。そのようなことを踏まえつつ、貴協会では、画像や文字のA I利用を踏まえた対策も実施していると聞いており、生成A Iによる技術が重要になるのかと考えます。今後とも当方が実施する施策が社会に役立ち、我が国の安全を保つことができ、よい方向性に向かうことを期待しております。

日本国際博覧会（大阪・関西万博）（EXPO 2025）が、4月より開幕し、おかげさまで入場者数も順調と聞いております。皆様のご協力のおかげであります。この万博は我が国の英知を結集させ、160カ国以上参加しております。まだという方は、ぜひ今後よろしく願います。

それでは、工業会日本万引防止システム協会並びに会場にいらっしゃいます皆様のますますのご活躍を祈念し、私の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

総会 第3部 来賓挨拶 乾杯

日本小売業協会 専務理事 湊元 良明 様



日本小売業協会の湊元でございます。乾杯の前にひとことだけ、ごあいさつを申し上げます。

工業会・日本万引防止システム協会の通常総会が滞りなく行われ、また大プレゼン大会が、大変素晴らしい内容で行われたことに対し、心からお喜び申し上げます。

さて、小売業界にとりまして、万引き防止は大変重要な経営課題ですが、人手不足が最大の経営課題となっている中、小売業と本協会にご加盟の各社様との連携がますます重要となっております。こうした中、私ども日本小売業協会は来年10月に19年ぶりに日本・東京でアジア太平洋小売業者大会を開催いたします。アジア太平洋地域の18カ国から4千人以上の小売業トップマネジメントなどが集う小売業界にとっての一大イベントであり、グローバル・ビジネスチャンスを拡大させる絶好の機会であります。

工業会・日本万引防止システム協会様におかれましては、ご協賛ならびにご出展およびご講演という形でご参画いただけるとのことです。心から厚く御礼申し上げます。本日お集りの皆様にも、ぜひともご支援いただきますことを、切にお願い申し上げます。

それでは、工業会・日本万引防止システム協会様のますますのご発展ならびに本日ご出席各社様のご隆盛を祈念いたしまして、乾杯いたしたく存じます。ご唱和をお願いいたします。乾杯。

The 22nd Asia-Pacific Retailers Convention & Exhibition (Tokyo)

Event Theme	The Future of Retail Innovation Meets Tradition
Dates	7th Wed. - 10th Sat. OCTOBER, 2026
Venue	Tokyo International Forum and surrounding facilities
Organizers	Japan Retailers Association (JRA) Federation of Asia-Pacific Retailers Associations (FAPRA)

公式サイト <https://aprc2026.com/en/index.html>

第3部は最初に元総務大臣・衆議院議員の葉梨康弘様にご挨拶をいただきました。後日、さらに詳しい内容を議員会館でお聞きしました。その内容はセキュリティ産業新聞2025年6月25日号で紹介されております。

自民党の葉梨康弘衆議院議員（元法相・再犯防止推進特別委員長、治安・テロ・サイバー犯罪対策調査会長代理など）が、衆議院第一議員会館で防犯関係者と面談し、防犯カメラの設置推進などの

衆院議員と防犯関係者が面談 政府の取り組みや治安情勢などを意見交換

政府の取り組みや昨今の治安情勢などについて意見交換を行った。葉梨議員は東大法学部を卒業後、1982年に警察庁に入庁。2003年の衆院選に茨城3区から出馬して当選後、現在7期目を迎えている。葉梨議員との面談には、日本万引防止システム協会の稲本義範会長（茨城県防犯設備協会理事）、日本防犯設備協会の伊藤広制度事業担当部長、クラウドカメラなどを展開するセーフィーの山本茂営業本部副本部長が参加。業界紙を代表して、セキュリティ産業新聞の野口勇人編集長も同席した。



葉梨議員（左から2人目）と防犯関係者

葉梨議員は地方自治体、自治会やCVSなどを中心に防犯カメラが設置されて各方面に普及したことで、刑法犯認知件数の減少に貢献した点を評価する一方で、闇バイトで実行犯を募集して犯罪を発生している強盗事件が相次ぎ発生しており、防犯カメラの質的向上を進める必要性があるとの認識を示した。

葉梨議員の提言

「当面の安心」と「将来の希望」が持てる国づくりを
<https://say-g.com/interview-hanashi-yasuhiro-10152>
再犯防止施策の充実のための提言
<https://www.jimin.jp/news/policy/210708.html>
「闇バイト」対策の強化に関する緊急提言
<https://www.jimin.jp/news/policy/209587.html>

総会で贈呈された感謝状の文面

今回の総会で贈呈しました感謝状の文面です。工業会活動で大変お世話になった皆様です。

JEAS AWARD No.009

感謝状

ウエルシア薬局株式会社 殿

貴社は、長年にわたり万引対策、ロス対策において業界のモデルとなる店舗運営を実践され、他社・他店舗への被害情報の共有においては、日本小売業の先駆けとなって防犯報酬の増進（協働防犯）を実践されてこられました。さらにコロナ禍においては、マスクなどの必要物資の提供などで地域の方々から、もともと顧りにされておりました。

これらにより、万引犯罪に留まらず、国民生活の安全・安心に多大なる貢献をいただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

令和7年6月6日

工業会 日本万引防止システム協会

会長 稲本義範

JEAS

工業会 日本万引防止システム協会
June 5, 2025 / Reinforcement of the Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines.

JEAS AWARD No.021

感謝状

株式会社コスモス食品 殿

貴社は、長年にわたり万引対策、ロス対策において業界のモデルとなる店舗運営を実践されており、多くの警察署からも防犯対策に協力的な店舗だと評されています。

防犯画像活用においては、業界の先駆けとなる来店者向けの店頭告知、さらには店内の防犯放送などを積極的に実践されてこられたことなど、感謝に堪えません。

これらにより、万引犯罪に留まらず、国民生活の安全・安心に多大なる貢献をいただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

令和7年6月6日

工業会 日本万引防止システム協会

会長 稲本義範

JEAS

工業会 日本万引防止システム協会
June 5, 2025 / Reinforcement of the Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines.

JEAS AWARD No.022

特別功労感謝状

日本電気株式会社 稲田 祐司 殿

貴殿は、長年当工業会の理事等として、新規入会時の会員サポートに尽力されるとともに、政策・研究委員会委員長として、JEAS 決定講習会や各職の市場調査などを担当されてこられました。特に顔認証システムにおいては、その安全利用推進に尽力され、社会的に評価される新たな防犯市場の形成を成し遂げられましたこと、特別功労として評したいと思います。

これにより、万引犯罪に留まらず、国民生活の安全・安心に多大なる貢献をいただきました。

ここにその功労を讃え、深甚なる敬意と感謝の意を表します。

令和7年6月6日

工業会 日本万引防止システム協会

会長 稲本義範

JEAS

工業会 日本万引防止システム協会
June 5, 2025 / Reinforcement of the Japan Industrial Association of Electronic Article Surveillance Machines.

新理事・新顧問あいさつ

●新任理事

日本アクア開発株式会社 代表取締役 豊島 雄介氏
(技術基準委員会)

この度は JEAS の理事に就任させていただく事になりました日本アクア開発(株)の豊島と申します。まだ加盟して1年少しですが拝命したことを光栄に感じております。協会に加入して感じたことは、会長を始めとした

メンバーが真剣に万引ロスを減らしたい、その為の製品、ソリューションのプライバシー保護も両立した社会を創ろうと全力で取り組む姿勢に感銘を受けました。

私の会社は昨年40周年を迎えましたが、防犯機器の販売となにより工事を強みとして全国展開をしており、JEAS 会員様からも機器の設置工事でも協力させていただいております。よりお客様に近い立場として製品を安全に設置し、効果的に運用できるように JEAS で学びを深めると共に、お客様からの意見も共有させていただきながら JEAS の発展にもお役立ちしたいと考えております。

まずは JEAS の理事として責任感を持って活動して参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

株式会社杏林社 代表取締役 清永 浩史氏
(総務委員会)

※前回の会報42号ご参照のこと。

●新顧問

前田 伸氏 会長補佐、CFE、CIA、元東芝プラントシステム(株) 監査部・参事 / 参与

当工業会が推奨する EAS 機器等の万引防止システムは、ロス対策に効果を発揮しているとして小売業界で評価されていることは周知のとおりです。

一方で、営業秘密や個人情報持出し、社内での金品や資産の横領が日々報道され、企業や団体は多額の損失のみならず、レピュテーションリスクに晒されており、内部犯行抑止と再発防止の必要性が喫緊の課題となっています。これは監視社会を推進するということでは決してなく、内部犯行抑止により組織を守るとともに従業員を守り、組織から不幸な人を出さないことに繋がります。そのためには、EAS 機器等の万引防止システムの導入が有効な手段の選択肢と言えます。

更には、職業倫理の啓発や風通しの良い組織風土の構築と実践が、性善説に基づく従業員へのケアと相まって不正対策に効果を発揮します。そうした一連のハードとソフトの両面からの対策の重要性を職業専門委員の皆様と共有できればと切に願って止みません。

CIA 株式会社 代表取締役 長岡 秀樹氏

CIA 株式会社は、防犯カメラ映像から不正行為者を特定し、顔認証技術などを活用して再犯防止につなげるソリューションの提供・運用を行っています。小売店では多くの店舗で防犯カメラを導入していますが、万引きの摘発は現行犯が原則のため、専門性を持つ保安会社への依存が依然として高い状況です。

セルフレジなど店舗環境の変化により、万引きの手口や目的も多様化しています。そのため、確実な証拠映像を残し、再犯を未然に防ぐことがより重要な課題となっています。

当社は2019年から約8万件に及ぶ万引き映像を分析し、システム運用と人的警備を組み合わせた効果的な防犯スタイルを確立してきました。顔認証運用のスペシャリストとして、カメラ画像の利活用技術の向上とプライバシー対策の両立に努め、警備業界や会員の皆様に貢献してまいります。

令和7年度 職業専門委員認定メンバー

昨年に続き、今年も11名の方を「職業専門委員」に認定しました。



職業専門委員の創設

ロス対策・パラダイムシフト★つながる心が生む新世界～協働防犯～

新たな制度として、業界に長らく貢献し後進の模範とされている方々を「職業専門委員」に認定する制度を令和6年度通常総会(6月7日開催)にて発出する予定です。

職業専門家とは
ACFE JAPAN「FRAUD」マガジン93号(2023/08/01)掲載の「工業会日本万引防止システム協会(JEAS)の職業倫理観」より抜粋し、ご説明させていただきます。
<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230516-5.pdf>

4つの検定制度と職業専門委員に関するパンフレット：<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240305.pdf>

2025年度工業会 JEAS「職業専門委員」選出理由

2025年3月31日案

No.	組織	役職	氏名	選出理由
1	株式会社日本リテイリングセンター	代表取締役社長・チーフリサーチャー	渥美六雄	万引防止強化国際会議2017の登壇者及びロス調査の紹介をいただき、2017年と2024年へガサ政策セミナーで当工業会の紹介を行っていただいたこと。JEASの総会での講演、ロス対策の勉強会への支援に感謝して。
2	特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構	理事・政策広報委員長	光眞章	元警視庁捜査一課長の経験からの防犯対策アドバイス、推奨顔認証システムの推進の支援をいただく。全国万引犯罪防止機構の事務局長として、全国の中学校での壁新聞や保護者用リーフレット、高齢者規範ビデオ制作などの実績に感謝して。
3	一般社団法人ロスプリベンション協会	代表理事	秋元初心	中小企業診断士として、2003年頃から雑誌商業界での店長向けのロス対策記事を執筆をされる。ロスプリベンション協会の代表として多くの小売業の現場指導にあたる。万引防止強化国際会議2017の支援などに感謝して。
4	当工業会	理事・政策研究委員会	佐藤圭三	所属：株式会社キャトルプラン。インターネットでの解除機器の販売中止を業界に先駆けて実施するとともに、若手業界人の育成を惜しみなく尽力されたこと。海外出身社員の結婚や定住への支援などに感謝して。
5	当工業会	理事・政策研究委員会	那谷幸平	所属：株式会社セキュリティデザイン。EASの安全利用への貢献。コロナ禍でいち早くサーマルカメラの普及に尽力されたこと。サーマルカメラの冊子作り、JEAS検定講習会のCCTVの担当講師などへの協力に感謝して。
6	特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構	渋谷書店万引対策共同プロジェクト運営委員	越智康雄	所属：グローリー株式会社。渋谷書店万引対策共同プロジェクトの立ち上げから現在まで、技術面から運用面、さらには資金面の働きかけをいただいた。それにより防犯情報の企業間の共同利用実現を導いたことへの功績に感謝して。
7	当工業会	理事・カメラ画像安全利用推進委員会WG長	山本健二	所属：グローリー株式会社。顔認証システムに関する冊子作りやセルフレジ防止の冊子作り、さらには推奨顔認証システム検定試験のWG長として、認定試験の確立・維持向上、新会員の相談係にいただいていることなどに感謝して。
8	当工業会	理事・政策研究委員会委員長	摺田祐司	所属：日本電気株式会社。未開拓の防犯分野であった顔認証システムの市場開拓の最大功労者。新規会員の勧誘やその定着化に尽力、店頭の告知POPなどのデータガバナンス体制作りなどへの貢献に感謝して。
9	当工業会	科学保安検定講習会リーダー	青柳秀夫	所属：株式会社日本保安。科学保安検定講習会の責任者として、研修会を実現へと導き、多くの科学保安警備員を輩出にあたられた。保安員や施設管理者などへのAED指導を率先垂範、LPの普及活動に長年尽力されことに感謝して。
10	当工業会	副会長・科学保安検定講習会総括指導	山根久和	所属：株式会社セフトHD。会員の意見交流の場である「山根会」のリーダーとして、協会運営や会員間の潤滑油的役割を果たしていること。科学保安検定講習参加者向けの保安警備業務の手引き研修会の講師などでの貢献に感謝して。
11	当工業会	理事・事務局長、技術基準委員長	田丸典億	所属：タカヤ株式会社。10年以上にわたり技術基準委員長をされ電波法や電安法やIoT製品の安全確保に尽力され、長年、重責である事務局長やフェイスブックを担当されています。IEC規格の担当などの役割を担われていることに感謝して。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20240305.pdf>

順不同

通常総会・第2部 記念行事 大プレゼン大会 JEAS AWARD 2025

副会長・総務委員長 近江元

総会の第二部として行われた大プレゼン大会には6社が参加し、①小売業でのニーズ ②発表の分かり易さ ③話が楽しい ④ガバナンスやSDGsの観点 ⑤真の防犯マーケティング度を評価して、審査員の審査および会場出席者の投票（拍手）で優勝を争いました。

選手宣誓が最初のプレゼンターである田中俊彦さんにより行われ、大プレゼン大会開始されました。日本電気株式会社バイオメトリクス・ビジョン AI 統括部プロフェッショナルの田中俊彦さんが話すテーマは「あなたの動き、お店はもっと解る！ ～顔認証を活用した顧客行動分析～」です。店舗のお困りごとの改善が必要だが、その具体的な指標が不足しているという課題に対して、映像分析基盤で改善活動の指標づくりを支援することで、「マーケティング施策の精度向上」「スタッフ行動の効率化」「不審行動の可視化によるロス削減」を実現しようというものです。

次に日本NCR コマース株式会社流通システム営業本部グローバル営業部の入社2年目（今回最年少のプレゼンター）の松永陽生さんが「EVERCHECK: フルサービス型セルフレジにおける、使いやすさとロス対策の両立～本部・店舗・お客様、すべてに寄りそう AI カメラソリューション、満を持して日本へ～」をプレゼンしました。人手不足の解消策として導入されてきたセルフレジにおけるロスの発生という問題が生まれ、その課題を解決するAIカメラによるロス対策ソリューションを紹介しました。

高千穂交易株式会社マーケティング戦略推進部チームマネジャーの佐久間博之さんによる「AI 映像解析技術を利用した“万引き行動検知システム”－万引きは止まらない、見つけ出さない限りは－」では、防犯カメラの映像から万引き行動のみを検出する仕組みである veesion が紹介されました。常習犯には抑止ではなく特定し能動的に対応するためのもので、特に高ロス店舗には有効であると説明がありました。

「AI 人数カウントカメラ紹介～ AI 搭載防犯カメラ単体での人数カウント」というテーマで株式会社 GeoVision 企画商品部マネジャーの豊田さんが次に発表しました。防犯目的だけではなく、来店者数を測定することでマーケティングに活用しようというものです。

セキュアリンク株式会社代表取締役の藤本典志さんによる「身近な他人が見守る社会の創造 ケアセンス (Care Sense) とウェーブセンス (Wave Sense)」は、孤独死を予防するなど24時間、365日、高齢者の見守りを目的としたもので WIFI (電波) で検知と予測予知をするものです。更にこの技術を使って、マーケティング、人流予測、万引き予測に活用しようとしています。

最後を飾るのはタカヤ株式会社 RF 事業部第二営業部の中山さんで「お客様の安心と売上の安定を両立する万引き対策～防犯対策の最適解 店員様の負担が軽く投資対効果の高いシステムとは～」というテーマでプレゼンを行いました。その中で、新たな機能を持つタグや一定のエリアから離れると発報するといったいくつかの製品が紹介されました。

会員各社の6名の方による素晴らしいプレゼンテーションが終わりいよいよ審査になります。

まず、6名と会場の参加者による審査の結果ユーモア賞は藤本さんが選ばれました。

また審査結果では同点となった日本 NCR コマースの松永さんと高千穂交易の佐久間さんの間でのじゃんけん勝負にもつれ込みました。その結果、金賞は高千穂交易の佐久間さんが受賞し、惜しくもじゃんけんで敗れた日本 NCR コマースの田中さんが銀賞を受賞しました。

今回初めて行った大プレゼン大会は、成功裡に終わることができ、会員はじめ総会に参加された方々からは大変好評を博しました。今回は会員企業のうちのわずか6社のプレゼンでしたが、より多くの会員企業が参加して、来年以降も同様の大会が開催されることが期待されます。

●受賞者のコメント

高千穂交易株式会社 マーケティング戦略推進部
チームマネージャー 佐久間 博之氏

AI 映像解析技術を利用した「万引き行動検知システム Veesion のご紹介」—全ての万引き犯の脅威となる存在を目指して—



人前でプレゼンする機会は結構多いのですが、プレゼン大会という形で評価されるのは初めての経験でした。15分という決められた時間で、全く予備知識の無い方へ製品をアピールしなくてはならず、「如何にして分かり易く説明しインパクトを与えるか」に重点をおいて、資料作成や話し方を工夫しました。

多くの時間を掛けて試行錯誤し準備をしましたが、金賞が取れて努力が報われました！ 最後、日本 NCR コマース様と同点になり最終的にはジャンケンで金賞を決めることになり、3回のアイコを経て見事勝利しました。が、相手の松永さんは入社2年目の若手だったので、若干後ろめたさも……。色々の良い経験になりました。

日本 NCR コマース株式会社 流通システム営業本部
グローバル営業部 松永 陽生氏

フルサービス型セルフレジにおける、使いやすさとロス対策の両立
～本部・店舗・お客様、すべてに寄りそう AI カメラソリューション、満を持して日本へ



この度は、輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に思います。また、入社2年目の若輩者を温かく迎えて頂いたことに深く感謝申し上げます。おかげさまでプレゼンの達人たる諸先輩方の中でも気負いせず臨むことができました。今回のソリューションは、JEAS が標榜する3つのキーワードに弊社なりの解釈も入れ、小売業様、買い物客の皆様へ寄り添った提供価値を実現できる点が、皆様のご評価と銀賞に繋がったと認識しています。

防犯民主主義：不正検知が一義でなく、従業員と買い物客に不利益を与えない、使いやすさに主眼

防犯マーケティング：AI を活用し、あらたな不正の手口に追随

データガバナンス：利用目的の明示など法規制の遵守に加え、動画のマスク処理など自主的な追加配慮
今後は、ロス対策とセルフレジ普及を両立させるべく、国内市場での認知定着に向け一層努力致します。
至らぬ点ばかりですが、今後とも皆様からのご指導・ご鞭撻のほど、何卒お願い申し上げます。

セキュアリンク株式会社 代表取締役 藤本 典志氏

身近な他人が見守る社会の創造 CareSense（ケアセンス）と WaveSense（ウェイブセンス）



工業会 JEAS 令和 7 年度通常総会 2025 年大プレゼン大会では、ユーモア賞を受賞いただきました。本当に、ありがとうございます。当日は、大阪出身ということもあり、ユーモア賞を狙っておりました。

発表内容については、万引きというよりも、小売店舗や一人暮らしの防犯という視点で、「工事なし」「装着なし」「映像なし」で、Wi-Fi の反射を利用した、防犯と軽度な見守りを実現するシステムでした。近い将来、Wi-Fi を利用した屋内測位で、店舗内での万引きの要因を重み付けし、店内でのロスの Hotspot を可視化し、従業員の挨拶や店内巡回、レジの位置や監視カメラ位置を駆使することで、カメラを使わずにロス対策が可能と考えています。今後の日本社会では、人口が減少することは明らかで、「身近な他人が見守る社会」の名の通り、相互に見守れる社会や職場づくりが重要と考えています。

今後とも、JEAS とともに、よろしくお願いします。

☆結果発表を含めて激闘と感動のラストを総会動画でお楽しみ
いただけます。視聴には簡単な登録が必要です。

<https://forms.office.com/r/Tycqi5Ksta>



令和 7 年度事業計画

本年度も当工業会では、事業及び各対策を強化していく所存です。

テーマ：防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽

- 1) 工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強
 - ・セキュリティショー2026にブース出展、セミナー開催 2026年3月3日～6日
 - ・第3回ファミリーセミナー「現地で学ぶ復興支援 ～共に生きる～」8月1日開催<新>
 - ・2026年10月開催の第22回アジア太平洋小売業者大会（東京大会）への協力<新>
 - ・先端設備等に係る生産性向上要件の証明証発行の工業会活動
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動
 - ・通常総会記念講演会&大プレゼン大会「JEAS AWARD2025」開催 6月6日<新>
 - ・2025年度ロス対策年間チャートの制作
 - ・日経万引対策ビデオ視聴と年間チャート活用セミナー4月3日開催
 - ・新聞や雑誌などへの運用事例の強化、工業会 FB やメルマガでの各社紹介
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
 - ・15分勉強会 / JEAS メール / JEAS フェイスブック / X / 新聞連載等での情報提供
 - ・第5回科学保安講習会開催9月25日 第5回科学保安前講習8月（ネットで自己学習）
 - ・心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動
 - ・EAS ステッカーや EAS 導入店表示 POP の普及促進、北大での干涉テストの継続実施
- 4) 無人店舗などの DX 推進と LP 両立のための調査
 - ・DX 推進プロジェクト リテール AI の研究施設の宮若ツアー開催 10月9日～10日<新>
 - ・AI 関係や DX 推進の団体やコンソーシアムとの連携

5) 機器の信頼性アップのための対策推進

- ・第6回推奨顔認証システム検定の審査5月募集開始 試験日：7月22日～7月23日
- ・「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備（立哨・巡回・接遇）」の冊子作成<新>
オンラインセミナー 10月15日開催<新>
- ・電波法、電安法などの関連の情報収集と知識習得

6) 解除器の盗品流通防止活動

- ・ネット等の個人への販売中止依頼と各社サイトでの簡易解除器の削除の継続

7) 万引防止システム関係に係る関係法令対策活動

- ・個人情報保護法対応と個人情報保護委員会への調査等協力
- ・いわゆる3年ごと見直しに向けての業界・自社の取組みのウェビナー開催 5月13日開催<新>
- ・経産省「AI事業者ガイドライン」準拠のセキュリティ対策&消費者庁「AI利活用ハンドブック～生成AI編」セミナー 1月9日開催<新>

8) 業界発展を目的とした調査、提案等の活動

- ・JEAS 推奨製品認定のための検定制度の継続
- ・企業間の協働防犯の推進！即時情報や分析データの共有をネットも含めて進める。
- ・海外から来られた新たな仲間の紹介の強化
- ・ロス・プリベンション教育の推進（ロス対策士合格者報奨制度、新テキスト無償配布など）
- ・2026年度の職業専門委員の発表

9) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化

- ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省等と連携
- ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体等と連携

推奨製品の紹介

2月7日（金）第5回理事会にて高千穂交易（株）の万引き行動検知ソリューション『veesion』（ヴェーション）に推奨製品検定の認定証 No.007が贈られました。



veesion

万引きを、リアルタイムで検出

世界初！AI映像解析技術による
『万引き行動検知ソリューション』



製品紹介 <https://www.takachiho-kk.co.jp/prod/cctv/veesion/>

セキュリティショー2025 JEAS ブースとセミナー

3月4日（火）～7日（金）開催のセキュリティショー2025にブース展示しました。3月4日（火）15：30開催のセキュリティショー2025JEAS 特別セミナー「AI（映像等）にデータガバナンスを織りこむ重要性 その事例は」を開催し多数のご参加をいただきました。登壇企業の製品はすべて推奨顔認証検定及び推奨製品検定製品です。

登壇者：

丸の内総合法律事務所 弁護士

木村 一輝 氏

Casley Deep Innovations 執行役員

黒岩 佳加 氏



高千穂交易 マーケティング戦略推進部 RS プロダクトチーム チームマネージャー
佐久間 博之 氏
セーフィー 営業本部 第1 ビジネスユニット 副部長
佐伯 穂高 氏

☆当日のアーカイブ動画の視聴される方はこちらの QR
コードからご視聴ください。(データは転用禁止です)



個人情報保護法改訂に向けてのセミナー

2025年5月13日(火)に個人情報保護法「いわゆる3年ごと見直しに向けての業界・自社の取組み」ウェビナー～改正前にわたしどもの意見を提言し、より良い法にしよう」を開催しました。延べ70名以上の方に視聴いただきました。

参考セミナー案内：<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250513.pdf>

☆当日のアーカイブ動画の視聴と配布データを希望される方は、
こちらのフォームにご登録ください。

<https://forms.office.com/r/WvgL2MNgtU>



新会員あいさつ

●新規正会員

SoftBank ソフトバンク株式会社 IoT & プラットフォーム本部 サービスデザイン統括部 AI 映像サービス部

小売業を取り巻く環境は、少子高齢化による人手不足、顧客体験の高度化、そしてテクノロジーの急速な進展など、さまざまな課題に直面しています。こうした現場の変化に対応し、より効率的で質の高い店舗運営を実現するために、ソフトバンクは2つの映像ソリューションを提供しています。

1. クラウドカメラサービス「LINE WORKS Vision」

「LINE WORKS Vision」は、店舗内の混雑状況や業務オペレーションを可視化し、現場の“見える化”を通じて業務効率の向上やスタッフの負荷軽減に貢献します。提供元である LINE WORKS 株式会社の各種サービスと連携することで、スタッフ間のスムーズなコミュニケーションの実現も目指しています。

<https://www.softbank.jp/biz/services/analytics/line-works-vision/>

2. AI 映像解析サービス「STAION」

「STAION」は、AIを活用した映像解析プラットフォームです。来店客数の傾向把握や売場状況の分析など、マーケティングに有用な情報を提供する以外にも、AIや解析用デバイスを一元的に管理できる機能により、お客さまごとの課題に応じて個別に開発したAIを導入する柔軟な基盤としても活用いただけます。

<https://www.softbank.jp/biz/services/analytics/staion/>

“映像”と“AI”という2つの技術の融合により、現場の課題を可視化し、自律的な改善を支援します。ソフトバンクは、小売業の現場改革と、より豊かな顧客体験の実現を力強く後押ししてまいります。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250708.pdf>

●新規賛助会員



株式会社ボックス・ワン 取締役 小林 徹

株式会社ボックス・ワンは1989年の創業以来、展示会におけるブースづくりを中心に、イベント・展示会出展者サポート、イベント・展示会主催者サポートを行ってまいりました。

現在の展示会・ディスプレイ業界において欠かせないマテリアルとなったオクタノルムシステムを取り扱うリーディングカンパニーとして長年培ってきた経験と技術で、多彩なアイデアを提供いたします。

また、弊社の経営理念にもありますように「私達は、見本市・展示会装飾施工のプロフェッショナルである」という自覚を持ち続け、お客様の満足のために、お客様のお客様までも視野に入れます。今後とも安全な

施工を目指して、皆様にお喜びいただけるよう努力してまいります。

皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250611.pdf>

理事会15分勉強会

・4月24日警察庁指定広域技能指導官（窃盗犯捜査部門）講師による「最新の対策情報」

・7月18日ダイワ通信「ロボットと協働する店舗運営の未来～防犯性及び生産性向上の両立～」

※理事会勉強会は毎回16時から開催します。オンラインでも視聴が可能です。会員外であっても事前に事務局にご連絡いただければ視聴が可能です。

防犯カメラを人数カウントなどに使うときの告知の徹底

カメラを使った人数カウントは観測にあたるので、防犯目的の顔認証システム利用（顔識別機能付きカメラシステム）と同じく、目的の通知・公表が必要です。地域の皆様より確かな信頼がいただけるよう周知徹底をお願いします。

〈根拠となる考え方〉

① カメラ画像利活用ガイドブック ver.2. の50ページ参照のこと。

https://www.soumu.go.jp/main_content/000542668.pdf

② 木村一輝弁護士に作成いただいた「法的な整理」

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20250613.pdf>

〈店頭告知例〉

小売事業者：店舗入口での掲示例

「より良い店舗づくりに役立てるための分析を開始します」

〇〇〇 **XX店**では、当店出入り口付近の映像を撮影し、ご来店いただいたお客様の数を計測しております。

撮影した映像からは人数計測のみを実施し、計測結果にはお客様の風貌や人物の特徴を示す内容および個人の特定につながる情報は含まれておりません。

なお、撮影した画像データは、人数を計測した後、即時削除しております。

・詳細は以下のホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.●●●●●●●●●●●●●●●●>



・本件に関するお問い合わせ先 xxx@xxxx.com, 0120-xxx-xxx

ロス対策士情報と JEAS 報奨制度について ～各分野で活躍するロス対策士～

副会長 近江 元

全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定試験制度は、万引犯罪、内部不正、業務上のエラーなどを含む不明ロスについての実務的な知識を身に着けることを目的としたものです。

今までに小売業、JEAS 会員など多数の方々がロス対策士の資格者となり、各分野でロス対策に取り組み始めています。

さて、JEASでは、ロス対策士検定試験の受験を促進するためにJEAS会員企業に所属する資格試験合格者の方々への褒賞制度（図書カード進呈）を設けております。

是非とも一人でも多くの方々がこの資格を得て、主要な顧客である小売業、特にチェーンストア企業に対して、ソリューションとしてのサービス提供につなげていただきたいと思います。

◆ JEAS 企業に所属する資格試験合格者への褒賞制度

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220810.pdf>



◆ ロス対策士検定試験は年3回予定されており、詳細は、全国万引犯罪防止機構の

ホームページをご覧ください。 <https://www.manboukikou.jp/exam-about/>

☆新たな知識と情報を共有に向けたフェイスブックにてロス対策士のための専用コミュニティが好評です！

フェイスブック上で「ロス対策士コミュニティ」と検索ください。

ロス対策士コミュニティ



+ 招待する



認定ロス対策士 (LPJ)

Loss Prevention Certified of Japan

工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

- 万引防止システム製造ないし販売している企業および団体
- 今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体
- 万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など
- 万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

- 小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業
- 小売業にサービスを提供している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間会費とする。

※事業領域は万引対策だけではありません。

新規入会企業および団体を募っています。

◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様

◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様



編集後記・事務局だより

6月とは思えぬ晴天が続き、九州北部や近畿などでは観測史上最も早い梅雨明けとなりました。今年も例年以上の猛暑が予想されます。皆様、くれぐれもご自愛ください。

この春、「大阪・関西万博 2025」が開幕し、夢洲が未来社会のショーケースとしてにぎわいを見せています。160以上の国・地域が参加し、10月13日まで開催中です。皆様のご予定はいかがでしょう？

MLBでは、大谷翔平選手が7月6日の誕生日に登板し、2回無失点・最速162km/hの快投を披露。肘への配慮から短いイニングでの登板を続けつつも、打者としても高い成績を維持し、二刀流での存在感が戻ってきました。この秋には「世界陸上東京 2025」も控え、国立競技場で繰り上げられる世界トップアスリートの競演が楽しみです。

国内では依然としてセルフレジ不正や組織的窃盗が課題となっておりますが、JEASは“Think Globally, Act Locally”の精神で、多様な関係機関と連携し、“協働防犯”の輪を広げてまいります。

酷暑が続きますが、どうぞご自愛のうえ、万博・世界陸上、そしてJEASの活動にもぜひご注目ください。今後ともご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

理事・事務局長 田丸典億

緊急！セミナー情報

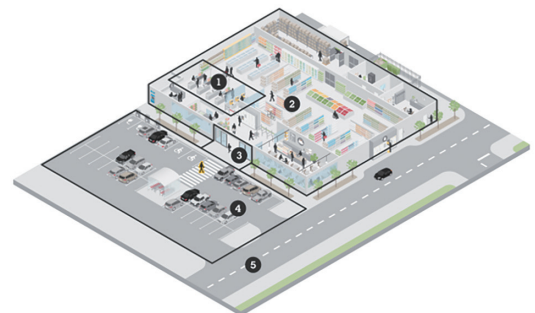
「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備（立哨・巡回・接遇）」ウェビナー

10月15日（水）15時～17時に「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備（立哨・巡回・接遇）」に関するウェビナーを開催します。ここ2年間大量窃盗を含む万引犯罪の件数が増加へと転じております。

その対策として、ネットワークカメラの急速な技術進化やAI技術の発達などで新たなソリューションが生まれております。

1月のNRF（米国小売業協会）のイベントでは、小売店を5つのエリアに分けた防犯ポイントを定義し管理する手法が発表されました。

それらの最新情報に警備上の管理ポイントの手法を加えた総合的な店舗のロス削減＆防犯対策について、各専門分野の職業専門家からご説明を申し上げます。



表引用 Axis Communications

ウェビナーの概要

日時：2025年10月15日（水）15：00～17：00

参加方法：Teams ウェビナー

登壇者：

○森川 真次氏 JEAS 監事

アクシスコミュニケーションズ（株）シニアアカウントマネージャー（リテール）

○豊田 孝志氏 JEAS 交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクトリーダー

（株）GeoVision 企画商品部マネージャー

○山根 久和氏 JEAS 副会長・科学保安講習プロジェクト総括指導

セフトHD（株）代表取締役社長

○青柳 秀夫氏 JEAS 科学保安講習プロジェクトリーダー、ロス対策テキスト執筆者

（株）日本保安 代表取締役社長

対象者：ロス対策士、店舗防犯部門、ロスや棚卸部門、監査や法務部門、店舗演出や店舗開発部門、DXやAI推進部門、経営TOPや経営戦略部門

費用：無料 ※事前の申込登録が必要です。

申込サイト：<https://events.teams.microsoft.com/event/bf833161-1412-4914-bdcd-495d4a875da2@1501c521-6b11-4c08-890d-5bdaa5dale48>



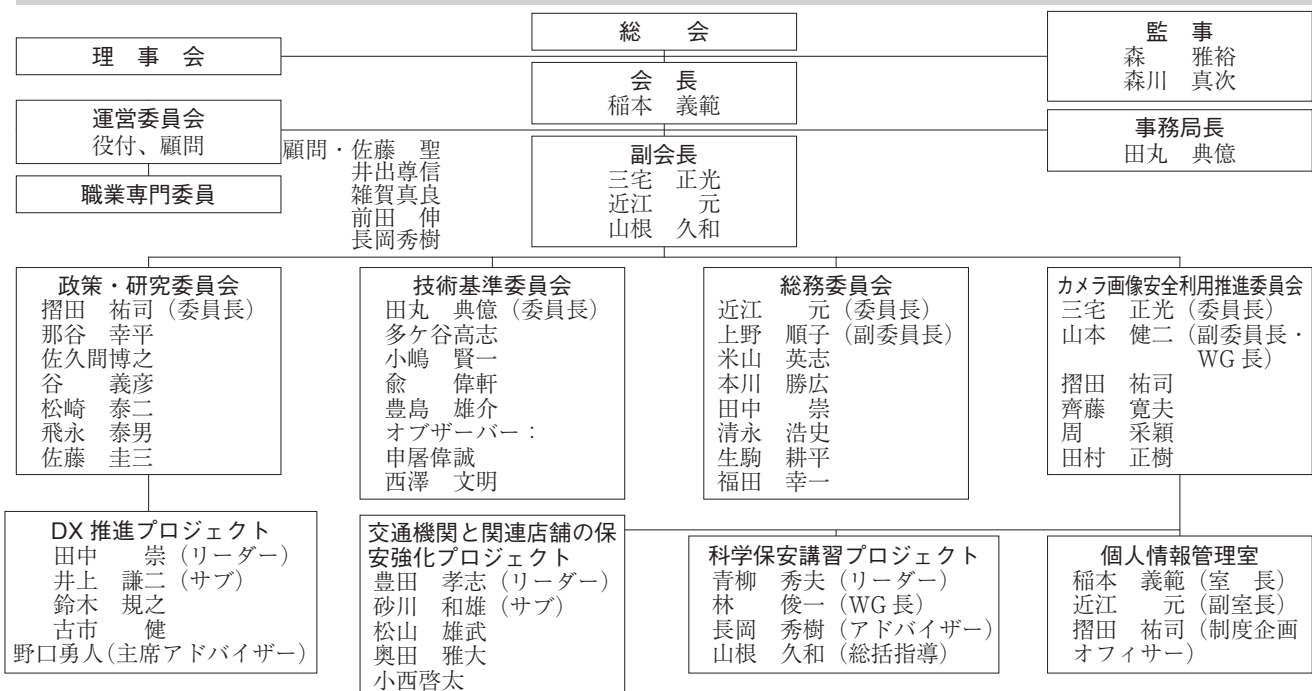
令和7年度 工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易（株）	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	（株） 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 ロス対策士普及委員会 委員長	近江 元
4	副会長	セフト HD（株）	代表取締役社長	山根久和
5	理事 （政策・研究委員会）	IDEC ファクトリーソリューションズ （株）	セールスマーケティング本部 EAS 営業部部長	谷 義彦
6	理事 （政策・研究委員会）	（株） キャトルプラン	代表取締役社長	佐藤圭三
7	理事 （政策・研究委員会）	（株） セキュリティデザイン	営業副本部長	那谷幸平
8	理事 （政策・研究委員会）	（株） 店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 （政策・研究委員会）	日本電気（株）	スマートリテール統括部 コンシューマーエクスペリエンスグループ	摺田祐司
10	理事 （政策・研究委員会）	ビブリオテカ・ジャパン（株）	営業部部長	松崎泰二
11	理事 （総務委員会）	マイティキューブ（株）	代表取締役社長	本川勝広
12	理事 （総務委員会）	（株） エイジス	コーポレート本部 事業開発 アライアンス担当部長	米山英志
13	理事 （総務委員会）	N E C ソリューションイノベータ（株）	DX テクノロジー事業部門 生体認証・映 像統括部 KAOATO グループ 主任	上野順子
14	理事 （総務委員会）	（株） 杏林社	代表取締役	清永浩史 （新任）
15	理事 （事務局長、技術基準委員会）	タカヤ（株）	事業開発本部 R F 事業部 営業部 S S 担当マネージャー	田丸典億
16	理事 （技術基準委員会）	日本アクア開発（株）	代表取締役	豊島雄介 （新任）
17	理事 （カメラ画像安全利用推進委員会）	グローリー（株）	警送営業部	山本健二
18	理事 （カメラ画像安全利用推進委員会）	（株） G e o V i s i o n	副社長	周 采穎 （Joy Chou）
19	理事 （DX 推進プロジェクト）	日本 NCR コマース（株）	マーケティング本部マネージャー	井上謙二
	監事	Loss-Controls 株式会社	事業開発本部インダストリー事業開発	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ（株）	シニアアカウントマネージャー （リテール）	森川真次

敬称略・順不同

顧問 佐藤 聖 元（一財）元流通システム開発センター 調査部長
井出尊信 高千穂交易（株）代表取締役社長
雑賀真良 元（株）オカムラ商環境事業本部 セールスサポート部
前田 伸氏 会長補佐、CFE、CIA、元東芝プラントシステム（株）監査部・参事／参与（新任）
長岡秀樹氏 CIA（株） 代表取締役（新任）

令和7年度 工業会 日本万引防止システム協会 組織図



防犯民主主義実現の旗の下 協働防犯への研鑽

EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会 工業会 日本万引防止システム協会

正会員

(正会員数 45社)

IDECファクトリーソリューションズ(株)
 AWL(株)
 アクシスコミュニケーションズ(株)
 アースアイズ(株)
 (株)アジラ
 アドセック(株)
 (株)エイジス
 NECソリューションイノベータ(株)
 エム・ケー・パビック(株)
 企業警備保障(株)
 (株)Casley Deep Innovations
 (株)キャトルプラン
 (株)杏林社
 Dahua Technology Japan(合)
 グローリー(株)
 (株)KSM
 (株)サイエンスアーツ
 サクサ(株)
 三和コンピュータ(株)
 (株)JSS
 (株)セキュリティデザイン
 セーフィー(株)
 CIA(株)

(株)GeoVision
 セコム(株)
 セフトHD(株)
 ソフトバンク(株)
 ダイワ通信(株)
 高千穂交易(株)
 タカヤ(株)
 チェックポイントジャパン(株)
 (株)店舗プランニング
 日本アクア開発(株)
 日本NCRコマース(株)
 日本電気(株)
 ネクストウェア(株)
 HIKVISION JAPAN(株)
 パナソニック コネクト(株)
 富士通フロンテック(株)
 ビブリオテカ・ジャパン(株)
 HOUSEI(株)
 マイティキューブ(株)
 (株)三宅
 リアルネットワークス(株)
 Loss-Controls(株)

賛助会員

(株)アスタリスク
 亜細亜印刷(株)
 (株)自己啓発協会
 (株)セキュアリンク
 三愛化成商事(株)
 チェスコムアドバンス(株)

(株)NICCOサポート
 (株)日本保安
 (株)バトライト
 (株)ボックス・ワン
 (株)UACJ
 (株)ロケット

特別会員

一般社団法人 ソフトウェア協会
 公益社団法人 日本防犯設備協会
 一般社団法人 日本自動認識システム協会
 一般社団法人 全国警備業協会
 NPO法人 全国万引犯罪防止機構
 関西万引対策連合会
 一般社団法人 リテールAI研究会
 タグ&バック事務局
 一般社団法人 ロスプリベンション協会

お陰さまで全会員数が66組織になりました。

(2025年6月6日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会

委員長・副会長 三宅 正光



推奨顔認証システム
ステッカー

令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。

技術基準委員会

委員長・事務局長 田丸 典億



EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。

- ①対ベースメーカー等との干渉実験
- ②電磁界測定 ③電気用品安全法対応
- ④各種の基準作り

政策・研究委員会

委員長・理事 摺田 祐司



調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。

総務委員会

委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会

会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

速報!

イベント情報

詳しくはJEASの
Homepage & Facebookにて

● 9/25(木) 第5回科学保安検定講習会を開催します。

● 10/15(水) 「店舗のカメラ設置標準例」と「店舗の制服警備(立哨・巡回・接遇)セミナー」を開催します。

**JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ**
好評配信中!

工業会 日本万引防止システム協会会報第43号

□発行日：2025年7月18日 □発行人：稲本義範
 □発行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局
 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階
 TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
 ホームページ <https://www.jeas.gr.jp/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
 メルマガ <https://www.jeas.gr.jp/mail.html>
 法人番号：9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。